

本校の教育相談についての取り組みを紹介します。是非ご利用ください。

特別支援教育コーディネーター

保護者からの相談窓口として本校には特別支援教育コーディネーターが2名おります。

お子様の生活の様子で気になることがありましたら、相談に応じたり、理学療法士や作業療法士等専門家との連絡調整をさせていただいたりしますので、特別支援教育コーディネーターにぜひご相談ください。

外部専門家との連携事業

医療・療育・福祉・学術等の専門家を活用した取り組みを行っています。医療では鴨島病院の先生に来ていただき、専門的な指導・助言を受けることができます。

専門家（医療）の活用の流れ

保護者や教師の気づきを専門家に相談

児童生徒の観察や、保護者・教師からの聞き取り

専門家による指導・助言

指導・助言をもとに保護者・教員が連携し、
授業や家庭で児童生徒の支援

支援内容の評価をし、次の支援のアドバイスをいただく

専門家

理学療法士 (PT)

「座る」「立つ」「歩く」など基本動作の専門家です。

作業療法士 (OT)

「食事」「着替え」などの日常生活に必要な作業（動作）の専門家です。

「お箸の持ち方が
気になります。」

「よく転ぶので
心配です。」



児童生徒、教職員、そして保護者の皆様と共に学び、連携・協働し、成長していくことができるように、専門家の活用を進めていきたいと思っております。

発達支援センター

本校には、発達支援センターがあります。発達支援センターは、鳴門教育大学院 特別支援教育コースの先生方からの指導助言のもと、地域のニーズに即した校内外の幼児児童生徒および保護者支援を行うとともに、関係する教員等の専門性の向上を図っています。

幼児児童生徒の可能性を最大限に延ばすとともに、自立と社会参加に必要な力を培うための適切な指導・必要な支援について考えていきたいと思っております。お困りのことがありましたら相談にお越しください。